

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330322062	保育内容(表現B) Childcare Contents (Expression B)	古田 年寿			2	必修	2後期
科目の概要							
本授業は、幼稚園教諭・保育士としての造形表現領域の演習による知識・技能の獲得を目指す(DP②)。また、それらを主体的・創造的に活用することができるようにするために、「平面」と「立体」における基礎的造形力を養い、その面白さや魅力を理解することを目的に演習を中心とした授業を行う(DP③)。							
学修内容				到達目標			
① 描画および工作の様々な技法について体験修得する ② 色彩についての知識を学び、彩色を施すことによって体得する ③ 計画的に制作する手順を修得する ④ 描画材料や工作に必要な道具の特性を修得する				① 描画および工作の様々な知識や技法を獲得し、それを応用させて活用することができる ② 色彩についての様々な知識や技法を獲得し、それを応用させて活用することができる ③ 計画的に制作を進め、自身の課題を抽出して解決することができる ④ 描画材料や工作に必要な道具の特性を理解し、適切に使うことができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題の意図を理解し、丁寧かつ積極的に制作をすることができる。 最後まで諦めず作品を完成させることができる。 制作した作品に愛着を持ち、大切に管理することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	制作説明において、重要なことをメモに残すことができる。					
考え抜く力	課題発見力	制作手順においてわからないことを自己判断で遂行せず、質問をすることができる。					
	計画力	表現するコンセプトを明確にし、作品のイメージをしっかりと持った上で必要な材料、用具を準備することができる。					
	創造力	クラスメイトの作品や参考作品を参照して、オリジナルのための工夫をすることができる。 修得した知識や技能をどのように保育に活かすことができるかをイメージすることができる。					
チームで働く力	発信力	時間内に作品を完成させるため、どういう手順が必要かを計画でき、自分の作品のポイントを理解した上で、それを発表することができる。					
	傾聴力	課題の意図を理解するために、注視して説明を聞くことができる。					
	柔軟性	オリジナリティーを大切にしながらも、他者の作品の良さも認めることができる。					
	状況把握力						
	規律性	提出期限を守り、制作後の片付けをしっかりとすることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『保育をひらく造形表現』 榎 英子著 萌文書林 その他授業でプリントを配布 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
他科目との関連、資格との関連							
本科目は、「保育内容(表現)」を基礎として構成されている。 また、保育士と幼稚園教諭1種の資格に関連する科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
身の回りのいろいろな平面表現に対して積極的に興味を持ち、造形の意義などについて関心を持つことが重要です。また授業で配布されるプリント等は、将来見直すことができるようファイルなどを用意して、一括して整理するようにしてください。失敗を怖がらないでください。むしろたくさん失敗してそこから学んでください。				授業開始後の無断入退室は禁止です。スマートホンなどを画像参考として使用する場合、必ず事前に許可を得るようにしてください。返却された作品やレポートは廃棄することなく、画像やファイルにまとめて保管し、今後役に立ててください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		40	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④				
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①作品の意図を理解した上で、自分独自のアイデアを盛り込み、完成度の高い作品を作ることができる。</p> <p>②発表において、自分のアイデアを伝わりやすく述べるができる。</p> <p>③子どもの指導という観点を持って制作できる。</p> <p>※上記3点を十分に発揮した場合A（優）評価とし、それ以上に高い場合はS（秀）評価とする。</p>	<p>上段のA評価ほどの到達がないとしても、自分なりに精一杯頑張って制作し、発表することができた場合B（良）評価とする。発表はできたものの、誠意が感じられないものはC（可）評価とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<p><オリエンテーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講についてのルール説明 ・社会人基礎力のチェック <p><乳幼児の造形表現の特質>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の造形表現の特質について学修する。 	<p>講義 ディスカッション</p>	<p>受講ルールを理解できる。 乳幼児の造形表現の概要について理解できる。</p>	<p>(予習) 学泉ノートを熟読しておく。保育所保育指針 保育の内容「表現」および幼稚園学習要領 ねらいおよび内容「表現」を読んでおく。 (復習) 今日の学修内容を振り返り、要点をまとめておく。</p>	180	<p>主体性 実行力 課題発見力 傾聴力</p>
2	<p><乳幼児の造形表現の特質>②</p> <p><乳幼児の造形活動の発達段階></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の造形活動の発達段階について学修する。 	<p>講義 振り返りレポート フィードバック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・造形本来の意味を理解し、乳幼児の造形活動に関連させて考えることができる。 ・乳幼児の発達段階について理解できる。 (振り返りレポートの提出) 	<p>(予習) 前回学修したことを確認しておく。 (復習) 振り返りレポートを作成し、次週提出する。</p>	180	<p>主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性</p>
3	<p><色彩></p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の性質や種類について理解する。 ・色料および光の三原色に理解し、混色して色をつくる。 ・色相環を作成する。 	<p>講義 演習</p>	<p>色に関する基本的な理解ができている。 日常生活において色が及ぼす様々な影響について理解できている。 (課題の提出)</p>	<p>(予習) マンセルの色相環をよく見ておく。 (復習) 色相環を完成させ、次の授業で提出する。</p>	180	<p>主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性</p>
4	<p><フロッターージュ><グラデーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内の落ち葉や凹凸があるものを採り、こすり出しの技法を用いて、作品を制作する。 ・フロッターージュについてインターネットで調べて効果的な方法を知る。 ・残った葉を使いグラデーションをつくる 	<p>演習 フィールドワーク 振り返りレポートの フィードバック</p>	<p>多様な模様を採取して、それを生かした制作ができる。 (振り返りレポートの提出)</p>	<p>(予習) フロッターージュの手法を調べておく。 (復習) 各自で作品を完成させる。また、この作品は今後の授業で使うので大切に保管すること。振り返りレポートを作成し、次週提出する。</p>	180	<p>主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性</p>
5	<p><描画材料の特質>① (スクラッチ、パチック)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種描画材料の特質を理解し、それを使った様々な表現を体験する 	<p>講義 演習 振り返りレポートの フィードバック</p>	<p>描画材料の特質を理解した上で、スクラッチ、パチックの手法を使った制作ができる。 (振り返りレポートの提出)</p>	<p>(予習) スクラッチ、パチックの手法を調べておく。 (復習) 各自で作品を完成させる。また、この作品は今後の授業で使うので大切に保管すること。振り返りレポートを作成し、次週提出する。</p>	180	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性</p>
6	<p><描画材料の特質>② (ドリッピング、ストリング、ローリング、マーブリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種描画材料の特質を理解し、それを使った様々な表現を体験する 	<p>講義 演習 振り返りレポートの フィードバック</p>	<p>描画材料の特質を理解した上で、ドリッピング、ストリング、ローリング、マーブリングの手法を使った制作ができる。 (振り返りレポートの提出)</p>	<p>(予習) ドリッピング、ストリング、ローリング、マーブリングの手法を調べておく。 (復習) 各自で作品を完成させる。また、この作品は今後の授業で使うので大切に保管すること。振り返りレポートを作成し、次週提出する。</p>	180	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 規律性</p>
7	<p><カラーージュ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでにできたモダンテクニック作品や写真、身近な素材を使いカラーージュ作品を制作する 	<p>演習 作品制作</p>	<p>自分の感性を十分に生かした非現実的世界が面白く表現できている。 (課題作品の提出)</p>	<p>(予習) インターネット等でカラーージュ作品やシュルレアリスムの概念、およびシュルレアリスム画家の画家の作品について調べておく。作品に使えるような雑誌の切り抜き写真や材料を準備しておく。 (復習) 各自で作品を完成させ、次週提出する。</p>	180	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性</p>
8	<p><点描画体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内で収集した落ち葉をモチーフに点描技法によって着色をする。 ・落ち葉についてインターネットで調べ、自分にふさわしいものを選ぶ。 	<p>演習 作品制作</p>	<p>点描画に関心を持ち、技法を理解した上で制作している。 (課題作品の提出)</p>	<p>(予習) 点描画について調べ、新印象派の画家ジョルジュ・スーラの作品を見ておく。 (復習) 作品を完成させ、次週提出する。</p>	180	<p>主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性</p>

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<遊ぶものをつくる> ・身近な素材を使い、昔ながらのおもちゃをベースに令和のおもちゃをつくる	演習 作品制作	実際の遊びに耐えられる強度と完成度がある作品に仕上がっている。 (課題作品の提出)	(予習) 昭和時代の子どもたちが遊んだおもちゃについて調べておく。想定される使用材料、用具を準備をする。 (復習) 作品を完成させ、次週提出する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
10	<マリオネットをつくる>① ・身近な素材を使ったマリオネットをつくる。	演習 作品制作 グループワーク	作品のイメージに沿った材料、用具の選定ができる。	(予習) アニミズムの概念について調べておく。想定される材料、用具を準備をする。 (復習) 作品の質を高めるために必要なことを整理しておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
11	<マリオネットをつくる>② ・マリオネットを完成させる。	演習 作品制作 グループワーク	劇中の動作に耐えられる強度を持ったマリオネットになっている。 グループで協力して作品を完成できる。	(予習) 足りない材料等を補充しておく。 (復習) 人形劇のシナリオ、演出方法についてグループで見通しを持っておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
12	<ICTを活用した動画制作>① ・子ども向け人形劇動画を作成する。 ・15分程度のストーリーを考案し、制作したマリオネットで演じる。 ・簡単な背景も制作し臨場感を演出する。	グループワーク (シナリオの考案、背景等の制作)	協働制作の中での自分の役割を果たすことができる。	(予習) グループでシナリオや演出方法を話し合っておく。 (復習) 制作過程で発生した問題について解決方法をグループで話し合っておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	<ICTを活用した動画制作>② ・子ども向け人形劇動画を作成する。	グループワーク (背景等の制作)	イメージ感覚を理解した動画を作ることができる。 協働制作の中での自分の役割を果たすことができる。	(予習) 場面を設定し、それに合った背景をイメージしておく。 (復習) 制作過程で発生した問題について解決方法をグループで話し合っておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	<ICTを活用した動画制作>③ ・子ども向け人形劇動画を作成する。	グループワーク (撮影)	イメージ感覚を理解した動画を作ることができる。 協働制作の中での自分の役割を果たすことができる。	(予習) 撮影方法やそれぞれの役割を話し合っておく。 (復習) 制作過程で発生した問題について解決方法をグループで話し合っておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
15	<動画による人形劇発表> ・グループごとに作成した動画による人形劇発表する。	グループワーク ディスカッション 振り返りレポートのフィードバック	グループで協力して動画を完成できる。 (作品、振り返りレポートの提出)	(予習) 発表の準備をする。 (復習) 自分のグループの作品を客観的に評価し、振り返りレポートにまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力